

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学アート・センター
Publication year	2020
Jtitle	Booklet Vol.28, (2020. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000028--005">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11893297-00000028--005</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 目次

はじめに	小菅 隼人	7
1 序論：象徴と実在の間——〈天皇〉の二つの身体	小菅 隼人	12
2 軍事指導者としての天皇	黒沢 文貴	22
3 歌舞伎のなかの王権表象	神山 彰	42
4 ギリシア悲劇における毀損された王の身体	北野 雅弘	62
5 寿がれる「ヒトラー」 ——戦後日本の舞台での〈ナチス式敬礼〉をめぐる	萩原 健	84
6 演劇における乃木希典 ——真山青果『乃木將軍』を中心に	熊谷 知子	100
7 宝塚歌劇における多重化された皇室の女性たち ——『双頭の鷲』（2016）の王妃の解釈可能性をめぐる	田中 里奈	118
8 天皇を表象する ——野田秀樹『TABOO』における「てんのう」の記号とパフォーマンス	稲山 玲	138
【特別対談】 〈まねぶ〉方法あるいは自画像的演技論——森村泰昌に聞く 森村 泰昌 × 小菅 隼人（聞き手）		156
参考文献 各論者が推薦する 5 冊		184